

事務局ニュース 05-NO.7 2006.2.8 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

ご 報 告

1. 厚生労働省 来年度予算案（財務省内示）を公表（別紙『全国運営委員会ニュース2005年度 4』も併せてご覧下さい）

学童保育の運営費の補助金は、8月に発表された概算要求額から100か所、1200万円の上積みがされました。子どもの放課後の安全対策が緊急な課題となっているなかで、学童保育を早急に整備することが必要だという考えから上積みされた厚生労働省は説明しています。

この結果、前年度比で過去最高の、17億1100万円増、18・1%増に。

<放課後児童健全育成事業（運営費）>

総額 111億8100万円

補助対象か所数 14100か所（今年度比900か所増）

また、障害児加算の「2人以上」という人数要件が撤廃され、一人でも加算が出ることになりました。ただし、「必要な体制を整備して障害児を受け入れた場合」という条件がつきます。条件の内容は3月に開かれる全国児童福祉主管課長会議で明らかにされます。

補助単価は、全国児童福祉主管課長会議まで明らかになりません。ただ、大きな変更はなく、マイナスとなった人事院勧告に連動して減額される見込みです。

2. 指導員の研修カリキュラムと認証制度の研究会が正式にスタートしました

昨年2月に策定された「県子育て応援行動計画」にもとづいて「指導員の研修カリキュラムと認証制度に関する研究会」が12月21日、正式にスタートしました。

子育て支援課から小峰主幹と中島主査、埼玉大学から吉川はる奈氏、県連協から薄井会長と森川事務局次長が出席。県連協から研究会の名称を「放課後児童クラブ指導員研究会」と提案趣意書案の提案 活動計画を提案しました。

05年度は、予備的な研究。実態調査を行った上で、内容の検討に着手をし、06年度以降に、予備的な研究を元に、本格的な検討に入る計画です。

当面は、県内外の学童保育指導員に関する調査研究を行う

2回目は、2月21日で具体的な調査項目を検討する予定で、県指導員連絡協議会からも出席していただきます。

3. 県連協主催の行事・とりくみ

(1) 第3回代表委員会 12月17日(土) 於さいたま市産業文化センター
出席 14市町25人

1. ビデオ上映会 よみうりCSテレビ『ニュースナビ 学童保育はいま』

2. 緊急学習・交流会 「指定管理者制度について」

公立公営委員会のこの問題についての中間まとめ

地域からの報告（業務委託の地域）坂戸市学童保育の会/八潮市つくしんぼクラブ

（管理委託の地域）新座市学童保育の会 質疑応答・意見交換

3. 緊急討論 学童保育における児童の安全管理について

4. 討議事項 県連協専従複数化に伴う会費値上げについて

(2) 第6回集中講座「障害児の生活づくり」1日目

12月19日(日) 於浦和地方庁舎 約140人が参加。

(3) 第17回指導員の労働条件改善のための一日学習会

1月22日(日) 於さいたま市与野本町コミュニティセンター他 約110人が参加。

お知らせ・お願い

1. 県連協代表委員会のお知らせ 会費値上げについて地域で討論を(再度)

2月25日(土) 18:00集合 於さいたま市桜木公民館

12月の代表委員会に続いて再度、専従複数化に伴う県連協会費の値上げについて討議し、一定の結論を得たいと考えています。疑問が残っている地域・学童保育には直接うかがうなど対応しますので、ご連絡下さい。

【前半=交流】

「学童保育の安全対策・危機管理について」

このことに関わってVTR放映

地域から、討議したこと、とりくんでいる

こと等を報告

【後半=議題】

専従複数化に伴う会費値上げについて

討議状況と結論を教えてください

5月までの方針・とりくみについて

『日本の学童はいく』誌の普及・拡大

地域の方針やとりくみを教えてください

その他

すべての地域・学童保育の保護者と指導員へのお願いです

『日本の学童ほいく』のモニターになって下さい！

2, 『学童ほいく』誌の定着・普及に向けて

(1) 地域連協・学童保育で4月号の“全員購読”の方針を立てましょう

『日本の学童ほいく』誌は全国学童保育連絡協議会が発行する学童保育に関する唯一の雑誌です。地域と県連協の財政の役にも立っています。20部以上まとまれば(4部以上で送料無料)還元金=地域へ約30円が降ります。県連協を支える財源ともなっています。

そこで、新学期を前に是非、父母会、指導員会、地域連協などですべての父母と指導員が購読される方針を立てていただきたいと思います。普及のために4月号を見本誌として無料で送り致します。見本誌の必要枚数をFAX等でお知らせ下さい。(左下参照)

(2) 『日本の学童ほいく』誌のモニター登録のお願い(右参照)

『学童ほいく』誌の内容をよりよいものにするために定期的に感想・意見を届けていただくモニターを募集しています。『学童ほいく』誌を読んでいる方であれば誰でも何人でもけっこうです。すべての地域・学童保育からご選出下さい。2月25日までにFAX等にてお知らせ下さい。

3, 県連協・全国連協・県 当面の予定

- 2月19日(日) 第5回集中講座「障害児の生活づくり」(於上尾市文化センター)
- 2月25日(土) 第4回県連協代表委員会 (於さいたま市桜木公民館)
- 3月5日(日) 第27回実践交流会 (於嵐山・国立女性教育会館)
- 3月19日(日) 第6回新人研修会 (於さいたま市産業文化センター)
- 4月22日(土) 第5回県連協代表委員会 (於さいたま市内)
- 5月27日(土) 第34回県学童保育連絡協議会総会 (於埼玉教育会館)
- 5月28日(日) 第34回県学童保育研究集会 (於埼玉県立大学)

『学童ほいく』誌見本誌・チラシ希望枚数

毎年、4月号を活用して新入学児童の家庭を中心に『日本の学童ほいく』誌を普及したいと考えています。そのための普及に必要な部数(現在と同部数はお渡しできます。それ以上必要であればご相談下さい)をお知らせ下さい。チラシは何枚でもOK。普及・活用計画の箇所もお書き下さい。切=2月末日 FAX 048-644-1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

連絡協議会ないし学童保育名 _____ 記載者名 _____
連絡先 _____ FAX _____ E-MAIL _____

送り先	見本誌部数	チラシ枚数	普及・活用の計画をお書き下さい

モニターのお仕事は次のとおりです

- 『日本の学童ほいく』を毎月読んで、その内容について意見・感想を編集部へ送る記事全部について書かなくて結構です。あなた自身とりわけ印象に残ったり(企画や原稿に問題を感じる、つまらない、良い話だ、共感できるとか、勉強になったなど)まわりで話題になった記事をあげてください。意見や感想は自由記述で結構です。
- 企画への要望や、ご自分の近況やちょっとした出来事なども歓迎します。

いただいた通信や手紙は、「読者のひろば」に掲載することがあります。もし、そのまま掲載されては困るときは、「掲載不可」と明記してください。

- *送り方は、FAX、メール、郵便、何でも結構です。
- *通信は、1号につき300円相当の謝礼(図書券等)を送ります。(3~4ヶ月ほどまとめて)。「読者のひろば」に掲載したときは、別途、500円の図書券を送ります。
- *期間は、登録を受けた日から、2007年3月号まで。

『日本の学童ほいく』誌のモニターになります

市町村名 _____ 学童保育名 _____
お名前 _____ をつけて下さい 保護者 指導員 他()
連絡先 指導員の場合は学童保育の、保護者の場合は自宅の連絡先をお書き下さい
_____ FAX _____ E-MAIL _____

〒 _____
